

令和4年11月11日

各高齢者施設・住まい } 管理者様
各介護保険事業所 }

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課長

今冬の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えた対策について（通知）

本県の新型コロナウイルス感染症対策の推進につきましては、日頃格別のご理解、ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

今冬においては、新型コロナウイルス感染症について今夏を上回る感染拡大が生じる可能性があり、加えて季節性インフルエンザについても同時に流行することが懸念されています。

各高齢者施設等におかれましては【別紙】及び別添資料を参考に、利用者及び職員に対し早期のワクチン接種について呼びかけを行っていただくとともに、職員の体調異変時には抗原検査キットを活用したセルフチェックを行うなど、適切な感染防止対策を講じた上でサービス提供を継続いただきますようお願いいたします。

別添資料

1. 2022年の冬へ向けた対策 ～高齢者施設における対策～
2. 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えた呼びかけリーフレット（厚生労働省作成）

【本通知の掲載場所】

介護情報サービスかながわ

→ 書式ライブラリー

→ 11. 安全衛生管理・事故関連・防災対策

→ 新型コロナウイルス感染症にかかる情報

<http://www.rakuraku.or.jp/kaigo2/60/lib-list.asp?id=1039&topid=22>

問合せ先

電話 (045)210-1111（代表）

福祉施設グループ 内線 4852

保健・居住施設グループ 内線 4856

在宅サービスグループ 内線 4840

【別紙】

今冬の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えた対策

今冬においては、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備えた対策が必要なことから、特に次の点にご留意の上、感染防止対策の徹底を継続いただくようお願いします。

1 ワクチン接種の推進

高齢者は新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザ感染後のリスクが高いことが知られていますが、オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンを接種することにより、感染や重症化を大幅に抑制することができます。両ワクチンは接種間隔を空けずに同時接種することも可能です。

また、新型コロナウイルスワクチンについては、接種間隔が5か月から3か月に短縮され、4回目接種を受けた方も含め、年内のオミクロン株対応ワクチンの接種が推奨されています。

ワクチン接種がさらに進むよう利用者や職員に対する丁寧な説明と働きかけをお願いします。

【神奈川県新型コロナワクチンポータルサイト オミクロン株対応ワクチン】

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/vaccines/omicron.html>

【厚生労働省 新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00003.html

2 基本的な感染対策と換気の徹底

適切なマスク着用や手指衛生などの標準予防策を継続するとともに、C o 2 センターも活用しながら、暖房使用時でも窓開けやサーキュレーター等を使用するなど効果的な換気を徹底し、感染の発生や拡大の防止に努めてください。

【新型コロナウイルス感染症 高齢者福祉施設における対応の手引き】

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/64247/tebiki4.pdf>

【神奈川県新型コロナウイルス感染対策指針 医療・福祉編】

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/64247/20220708_guidelines.pdf

3 抗原検査キットを活用したセルフチェック

職員が体調の異変を感じた場合は、抗原検査キットを活用したセルフチェックを行い、感染を早期に探知するよう努めてください。なお、セルフチェックを行う際は必ず国が承認した「医療用」又は「一般用」の検査キットを使用してください。

4 施設内療養・治療に備えた準備

令和4年9月に実施した新型コロナ陽性者発生時対応状況調査によると、令和4年4月から4か月間に感染が発生した施設は、全回答施設 2,194 施設のうち 1,418 施設（65%）で、うち利用者が感染した施設は 822 施設でした。

陽性利用者 7,849 人のうち、6,728 人（86%）が施設内で療養しました。

また、施設内療養を実施した 746 施設のうち 433 施設（58%）でコロナ治療が行われました。（調査結果は別添1の8頁以降をご参照ください。）

入所系施設では、施設内での療養・治療の実施に備え、平時のうちに入所者の基本情報（生年月日、ワクチン接種歴、基礎疾患等）や治療希望を整理するとともに、協力医療機関と連携内容を確認してください。

5 衛生・防護用品等の備蓄

対応状況調査によると、衛生用品の備蓄について3日以上ある施設が79%でした。また、衛生用品の調達にかかる日数については、3日以上かかる施設が55%でした。

十分な備蓄がない施設については、早急に備蓄の検討をお願いします。備蓄にあたっては、品目ごとの1日あたりの使用量を把握し、調達にかかる日数を考慮して必要な備蓄量を算出してください。なお、感染拡大の状況によっては、衛生・防護用品の需給がひっ迫し、調達に通常以上の日数がかかることも考えられますので、余裕を持った量を備蓄するように努めてください。